

昭和31年(1956年)

1月20日

顧問及び参与を委嘱

顧問: 県教育委員神名勉穂、同黒土四郎、同久保田順作、県教育長鈴木秀三、県文化財専門委員・元金沢文庫長関靖、横浜国立大学教授酒井恒、県文化財専門委員・県文化財協会会長古宇田実、県電気局長弘山尚直、日本鳥の会会長山階芳麿、神奈川新聞社長佐々木秀雄、日活社長・江ノ島水族館長堀久作、東京国立博物館長浅野長武、斎藤報恩会博物館長畑井新喜司、日本芸術院長高橋誠一郎、鶴見女子短期大学長中根環堂参与: 鶴見女子短期大学学監中野愚堂、県社会教育主事堀江澄男

4月14日

施設代表者会議(於県立図書館): 昭和31年度事業、部会運営、会費徴収、連絡会議の持ち方について、移動博物館を試験的实施について、博物館施設の紹介宣伝として神奈川新聞に記事掲載依

頼について

4月19日

移動博物館に関し国立科学博物館に依頼

4月23日

移動博物館実施施設関係者打合

5月12日

施設代表者会議(於観音崎自然博物館): 移動博物館について、神奈川新聞社記事掲載依頼について、自然科学部会の報告、会議終了後、講演「観音崎自然博物館校正の基本理念及展示の態度と考え方」観音崎自然博物館四竈安正

6月21日

自然科学部会(於県立相模湖電気科学館)

7月6日

朝日新聞横浜支局にて県下博物館施設紹介記事について打合せ

7月25日

施設代表者会議(於県立金沢文庫)

7月27日～31日

移動博物館実施、第1会場の伊勢原町比々多小学校では国立科学博物館所蔵資料を展示、第2会場の三ノ宮郷土博物館では三ノ宮比々多神社伝来の資料を展示

8月2日～4日

移動博物館(第2会場 湯河原町小学校)

8月7日～21日

朝日新聞地方版に「博物館物語り」連載(会員別施設を紹介)

8月20日

知事との懇談会(於県迎賓館): 会長、副会長、顧問参与、理事など出席、県立博物館建設について要望、知事からはシルク博物館建設に協力を要望

8月28日

自然科学部会(於江ノ島熱帯植物園)

9月26日

施設代表者会議(於江ノ島水族館): 報徳二ノ宮神社の加入について、朝日新聞掲載博物館施設紹介について報告の後、関靖の江ノ島弁財天につい

での講演、午後より、「博物館案内(仮称)」作成について協議し編集委員7名を選任、またシルク博物館構想について協会試案を作成することを決定、朝日新聞掲載の「博物館物語り」継続の交渉委員を選定、会則を変更し「神奈川県博物館協会」と改称

10月8日

自然科学部会(於野毛山遊園地)

11月14日～17日

第4回全国博物館大会(於天理市)に参加

11月26日～27日

施設代表者会議及び総会(於箱根美術館):教育委員の交替に伴い顧問を委嘱について、理事4名増員、「神奈川県の博物館」出版について、シルク博物館の協会案について、特殊コレクションリスト作成について、その他

11月27日

人文部会(於箱根美術館):斎藤節三によるイランの実写スライド上映と箱根美術館見学

12月15日

自然科学部会(於小田原市公民館)